

10/3
13:00 ~

平成30年度 決算説明資料

令和元年10月3日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 フィルムコミッションの主な実績	1
2 観光プロモーションの推進	2
3 愛知・名古屋観光キャンペーンの推進	4
4 インバウンド誘致の強化	6
5 中部国際空港における国・地域別入国外国人数及び伸び率	10
6 中部国際空港の発着回数の推移	11
7 中部国際空港にかかる各団体への負担金	12
8 国際展示場の運営手法に関する調査	13
9 なごや子どものための巡回劇場の実施団体及び入場者数	14
10 あいちトリエンナーレ2019にかかる予算額及び決算額	15
11 名古屋城の管理運営にかかる支出、収入及び入場者数の推移	16
12 名古屋城にかかる文化庁補助対象事業の執行状況	17
13 名古屋城内の発掘調査の状況	19
14 天守閣木造復元にかかる平成28年度から平成30年度の総経費	20
15 天守閣特別会計にかかる平成28年度から平成30年度の収支	21
16 名古屋城天守閣特別会計にかかる観光その他事業債の発行状況	22
17 設計監理等支援業務	23
18 天守台石垣調査の執行状況	24
19 実施設計の執行状況及び今後の見通し	25
20 実施設計に必要な現状変更許可申請にかかる文化庁との調整内容	26
21 平成29年度に実施した基本設計の内容	27
22 木材の製材	28
23 木材調達にあたり文化庁へ報告した日程、報告事項及び文化庁からの 意見	29
24 天守閣木造復元についての文化庁の正式な見解	30
25 天守閣木造復元の現状変更許可の申請に向け文化庁と調整した日程、 調整事項及び文化庁からの意見	32
26 文化庁が出席した名古屋城木造復元に関係する会議	33

27	特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議の開催実績	36
28	特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会の開催実績	41
29	特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議天守閣部会の開催実績	45
30	名古屋城天守閣整備事業における基本協定の有効性にかかる弁護士の見解	53

1 フィルムコミッションの主な実績

(1) 支援作品の件数

区 分	件 数
平成29年度	4
平成30年度	15

(2) 支援作品

区 分	作品名	撮影場所
平成29年度	マスカレード・ホテル	七ツ寺共同スタジオ、名古屋城北側道路、大津通歩道 等
	さらば青春、されど青春。	名古屋港、名城公園南遊園、二の丸交差点北付近 等
	レディ in ホワイト	中区役所、シンフォニー豊田ビル、コンパル（国際センター内） 等
平成30年度	デッドエンドの思い出	久屋大通公園、円頓寺商店街、セントラルパーク 等
	名も無い日	熱田神宮、宮の渡し公園、神宮商店街 等
	アルキメデスの大戦	名古屋市役所本庁舎（貴賓室、5階北廊下、4階東廊下）
	明治東京恋伽	名古屋市役所本庁舎（正庁、正面玄関、中央廊下 等）

注 支援作品については、公表可能なもののみを記載

2 観光プロモーションの推進

(1) 札幌市

区 分	内 容
日 程	平成30年6月22日(金)～24日(日)
場 所	イオンモール札幌発寒、イオンモール札幌平岡
内 容	イオン北海道「名古屋・東海フェア」における観光PR セールス活動 マスコミ2社、旅行社6社、現地テレビ番組 出演等
従事者数	3人
主な成果	企業広報紙折り込み120万部、マスコミ報道4社
支出金額	366千円(イベント経費64千円、旅費302千円)

(2) 熊本市

区 分	内 容
日 程	平成30年8月2日(木)～4日(土)
場 所	火の国まつり会場
内 容	「火の国まつり」における観光PR セールス活動 マスコミ2社、旅行社11社、熊本市役所等
従事者数	6人
主な成果	マスコミ報道6社
支出金額	334千円(イベント経費48千円、旅費286千円)

(3) 岡山市

区 分	内 訳
日 程	平成30年10月2日(火)～4日(木)
場 所	天満屋岡山本店
内 容	「尾張名古屋と東海4県味まつり」における観光PR セールス活動 マスコミ10社
従事者数	2人
主な成果	マスコミ報道8社
支出金額	149千円(イベント経費24千円、旅費125千円)

(4) 札幌市

区 分	内 容
日 程	平成30年11月2日(金)～4日(日)
場 所	札幌グランドホテル
内 容	「北海道旅行博」における観光PR セールス活動 マスコミ1社、現地テレビ番組出演
従事者数	2人
主な成果	マスコミ報道3社、インターネットニュース等掲載
支出金額	426千円(イベント経費319千円、旅費107千円)

(5) 福岡市

区 分	内 容
日 程	平成30年11月9日(金)～11日(日)
場 所	エルガーラ・パサージュ広場
内 容	「FDAでカンパイ!ニッポンはしご酒 in FUKUOKA 2018」における観光PR セールス活動 旅行社2社、現地ラジオ出演
従事者数	1人
主な成果	マスコミ報道1社、インターネットニュース等掲載
支出金額	269千円(イベント経費184千円、旅費85千円)

(6) 盛岡市

区 分	内 容
日 程	平成31年2月8日(金)～9日(土)
場 所	イオンモール盛岡
内 容	「いわて花巻空港フェスタ2019」における観光PR セールス活動 旅行社4社、現地テレビ出演
従事者数	2人
主な成果	マスコミ報道3社
支出金額	92千円(イベント経費20千円、旅費72千円)

注 支出金額には上記以外に事務費等464千円を計上

3 愛知・名古屋観光キャンペーンの推進

(1) 東京都世田谷区

区 分	内 容
日 程	平成30年6月16日(土)～17日(日)
場 所	二子玉川ライズガレリア
内 容	「でら旨いもん県!天下一みどころ市!愛知・名古屋の観光物産展」の開催
従事者数	4人
主な成果	チラシ配布2,000枚、山手線車内デジタルサイネージ掲出、インターネットニュース等40サイト掲載
支出金額	4,167千円 (イベント経費4,000千円、旅費167千円)

(2) 兵庫県

区 分	内 容
日 程	平成30年10月13日(土)
場 所	神戸ハーバーランドセンタービル地下
内 容	「でら旨いもん県!天下一みどころ市!愛知・名古屋の観光物産展」の開催
従事者数	2人
主な成果	チラシ配布2,000枚、インターネットニュース5サイト掲載
支出金額	2,034千円 (イベント経費2,000千円、旅費34千円)

(3) 東京都港区

区 分	内 容
日 程	平成30年11月2日(金)～3日(土・祝)
場 所	スパイラルホール
内 容	「OZの女子旅EXPO2018meetJapan 47 コンシェルジュ」における観光PR
従事者数	2人
主な成果	雑誌7万部発行、専用Instagramフォロワー823人、 Instagram投稿数1,310件
支出金額	3,108千円 (イベント経費3,006千円、旅費102千円)

注 支出金額には上記以外に事務費691千円を計上

4 インバウンド誘致の強化

(1) 韓国における観光プロモーション

区 分	内 容
決 算 額	2,316,398円
イベント名称	釜山国際旅行展
日 程	平成30年9月7日(金)～9月9日(日)
来 場 者 数	104,364人
イベント概要	韓国第2の都市釜山市で開催される、世界40か国・地域が参加する国際旅行展
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none">・名古屋の観光案内、名古屋めしの紹介・コーヒーの試飲ができる「純喫茶ナゴヤ」をテーマとしたブースを出展・名古屋旅行への動機付けとして、周辺観光施設等と連携したPR

(2) 台湾における観光プロモーション

区 分	内 容	
決 算 額	10,288,424円	
イベント名称	台中フローラ世界博覧会	台湾ランタンフェスティバル
日 程	平成30年11月3日(土) ～11月18日(日)	平成31年2月15日(金) ～3月3日(日)
来場者数	約430万人	約1,339万人
イベント概要	持続可能な発展を目指すことをテーマとした世界博覧会	旧正月に合わせて開催される台湾最大級のイベント
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本丸御殿の屏風や金シャチパネル、顔はめパネルなどのフォトスポットの設置 ・名古屋ご当地缶バッチの製作体験コーナーの設置 ・本市と台中市との「観光分野における両市間のパートナー都市協定に向けた覚書」への署名 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋をイメージしたランタンを展示 ・SNS登録促進キャンペーン ・台湾観光局等が主催する交流行事への参加

(3) アメリカにおける観光プロモーション

区 分	内 容
決 算 額	11,237,157円
イベント名称	エクスプロアナゴヤ in ロサンゼルス
日 程	平成31年3月25日(月)
来 場 者 数	約300人
イベント概要	姉妹都市交流で培った人的ネットワークを活用した、名古屋の魅力アピールする本市主催のイベント及びレセプション
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none">・有松絞、名古屋提灯をはじめとする伝統工芸品の展示及び各種パンフレット等を配布・協賛企業からのサンプルの試食・名古屋の地酒や名古屋めしを旅行業界、マスコミ関係者など発信力のあるインフルエンサーにアピール

(4) 外航クルーズ船社等へのポートセールス

区 分	内 容
決 算 額	3,068,596円
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none">・愛知県と共同で、東京及び中国・上海のクルーズ船社・旅行代理店を訪問し、名古屋港への寄港を要請・名古屋港へ入港した外航クルーズ船の乗客に対し、臨時の観光案内所を設置・歓迎ムードを演出する各種セレモニーの開催

(5) アジア地域におけるPR活動拠点の設置

区 分	内 容
決 算 額	10,866,154円
設 置 地 域	台湾及びベトナム
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none">・現地旅行会社やメディア等に対する本市観光情報の提供・市内での宿泊・周遊を含む旅行商品の企画・造成支援・訪日旅行商品の造成状況、トレンドの情報収集

(6) その他

区 分	内 容
決 算 額	1,239,300円
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none">・キャッシュレス観光調査・インバウンド向け有松ポスターの増刷

5 中部国際空港における国・地域別入国外国人数及び伸び率

区 分	入国外国人数		伸 び 率
	平成29年度	平成30年度	
	千人	千人	%
中 国	551	605	109
台 湾	188	194	103
韓 国	163	185	113
香 港	138	119	86
フィリピン	72	82	113
タ イ	57	80	140
ベトナム	43	62	144
米 国	29	29	100
ブラジル	11	16	145
シンガポール	12	15	125
総 数	1,378	1,508	109

注1 法務省「出入国管理統計統計表」による

2 区分は平成30年度の入国外国人数順

3 伸び率 (%) = 平成30年度の数 / 平成29年度の数 × 100

6 中部国際空港の発着回数の推移

区 分	平成29年度	平成30年度
国際線 (うち貨物)	39,222 (2,889)	40,225 (2,893)
国内線 (うち貨物)	61,749 (-)	63,085 (-)
計	100,971 (2,889)	103,310 (2,893)

7 中部国際空港にかかる各団体への負担金

(単位：千円)

団 体 名	金 額
中部国際空港利用促進協議会	15,000
中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会	1,000

8 国際展示場の運営手法に関する調査

(1) 目的

国際展示場新第1展示館の整備等を見据え、新たな運営手法や運営体制について検討するための調査を実施

(2) 概要

- ・運営事業者等へのヒアリング調査
- ・運営方法の比較検討
- ・運営体制の検討

(3) 結果

- ・運営方法については、指定管理者制度とコンセッション方式を比較検討し、将来的な事業条件の変更に対する対応等を考慮すると、現時点では指定管理者制度が望ましい
- ・運営体制については、従来の貸館業務に加え、展示会をはじめ催事の誘致や支援等の充実が必要

9 なごや子どものための巡回劇場の実施団体及び入場者数

区 分	団 体 名	公 演 数	入 場 者 数
交 響 楽	名古屋フィルハーモニー 交響楽団	4 回	1,255 人
	セントラル愛知 交響楽団	4	1,292
音 楽 劇	企画制作楽大夢	8	1,561
児 童 劇	総合劇集団俳優館	8	1,902
人 形 劇	人形劇団パン	8	1,354
バ レ エ	岡田純奈バレエ団	8	2,787
パントマイム	プレジャー企画	4	1,234
伝 統 芸 能	狂言共同社	4	327
計		48	11,712

10 あいちトリエンナーレ2019にかかる予算額及び決算額

(1) 平成29年度 (単位:円)

区 分	予 算 額	決 算 額
県負担金	35,739,000	29,953,976
市負担金	11,913,000	9,984,658
事業収入等	1,000	50,797
計	47,653,000	39,989,431

(2) 平成30年度 (単位:円)

区 分	予 算 額	決 算 額
県負担金	98,256,000	95,645,811
市負担金	31,752,000	30,881,937
事業収入等	1,000	158
計	130,009,000	126,527,906

(3) 令和元年度 (単位:円)

区 分	予 算 額
県負担金	652,222,000
市負担金	171,024,000
事業収入等	265,001,000
計	1,088,247,000

注 市負担金のうち、137,222,000円は、概算払いにて交付済み(令和元年9月30日現在)

1.1 名古屋城の管理運営にかかる支出、収入及び入場者数の推移

(1) 支出

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度
職員の人件費	189,926	187,920
運営管理	365,752	405,994
季節行事等催物の実施	32,329	26,971
本丸御殿の運営	91,397	154,739
計	679,404	775,624

注 職員の人件費は、保存整備室分を除く

(2) 収入

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度
使用料	769,891	876,949
名古屋城観覧料	745,319	852,756
その他使用料	24,572	24,193
諸収入等	12,390	26,016
計	782,281	902,965

(3) 入場者数の推移

(単位：人)

平成29年度	平成30年度
1,902,744	2,207,530

1.2 名古屋城にかかる文化庁補助対象事業の執行状況

(単位：千円)

区分	年度	補助 申請額	当初 決定額	決算額	執行率	増減の主な理由
歴史生き活き 史跡等総合活 用整備事業 (石垣の修復)	26	50,000	50,000	50,000	100%	—
	27	30,000	22,500	22,500	100%	—
	28	37,919	28,100	28,100	100%	—
	29	200,000	80,000	28,240	35.3%	石垣部会からの指摘を踏まえ、修復内容を「地盤補強、残り2段の石の取り外し、積み直しに着手」から「地盤補強のみ」に変更
	30	50,000	32,182	32,156	99.9%	—
歴史生き活き 史跡等総合活 用整備事業 (二之丸庭園 の保存整備)	26	60,000	52,800	45,606	86.4%	入札結果による残
	27	59,400	44,550	40,434	90.8%	入札結果による残
	28	50,000	32,852	32,207	98.0%	—
	29	40,000	40,000	39,480	98.7%	—
	30	40,000	31,600	26,500	83.9%	造成地盤高の見直しによる事業費の減
市内遺跡 発掘調査等 (石垣の修復・ 二之丸地区整 備基本調査)	30	15,773	12,894	10,090	78.3%	発掘調査範囲の見直しによる事業費の減

区 分	年度	補助 申請額	当初 決定額	決算額	執行率	増減の主な理由
美術工芸品 保存修理 (重要文化財旧 本丸御殿障壁 画保存修理)	26	20,000	20,000	20,000	100%	—
	27	23,500	23,000	22,862	99.4%	—
	28	23,000	23,000	22,656	98.5%	—
	29	22,500	22,500	22,280	99.0%	—
	30	22,540	22,540	23,968	106.3%	補助要綱の変更により、重要文化財障壁画の展示経費が補助対象となることを受けて、計画変更を行ったため
多言語解説 整備事業 (本丸御殿の 運営)	30	962	962	962	100%	—

注 金額は総事業費。補助率は総事業費の50%

ただし、多言語解説整備事業にかかる補助率は総事業費の48%

13 名古屋城内の発掘調査の状況

区 分	調査期間	調査面積	金 額
天守台周辺	平成30年6月19日 ～12月25日	m ² 18	円 3,985,070
二之丸庭園	平成30年8月21日 ～10月10日	160	6,099,648
その他	平成31年2月 6日 ～3月29日	145	5,355,720

1.4 天守閣木造復元にかかる平成28年度から平成30年度の総経費

(1) 特別会計

ア 505億円の範囲内

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
基本設計等	—	846,936	—	846,936
天守台石垣調査	—	53,000	281,374	334,374
実施設計	—	—	594,000	594,000
史跡内仮設工事	—	—	86,952	86,952
木材の製材	—	—	2,196,000	2,196,000
木材の製材 (工事監理)	—	—	15,500	15,500
計	—	899,936	3,173,826	4,073,762

イ 505億円の範囲外

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
人件費	142	55,507	83,934	139,583
設計監理等支援 業務委託	—	41,040	41,040	82,080
天守閣木造復元に 向けた調査	—	20,056	—	20,056
事務費等	76	2,691	12,173	14,940
天守閣木造復元に 向けた機運醸成	—	17,088	31,690	48,778
基金の積立	—	211,402	131,783	343,185
公債会計繰出金	—	—	6,764	6,764
計	218	347,784	307,384	655,386

(2) 一般会計

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
天守閣事業資金 の貸付	218	190,318	458,428	648,964

1.5 天守閣特別会計にかかる平成28年度から平成30年度の収支

(1) 平成28年度 (単位：円)

区 分	支出額	財源内訳	
事業費	218,147	一般会計借入金	218,147

(2) 平成29年度 (単位：円)

区 分	支出額	財源内訳	
事業費	189,381,705	一般会計借入金	189,381,705
整備費	846,936,000	一般会計借入金	936,000
		市債	846,000,000
基金の積立	211,402,297	寄附金等	211,402,297
計	1,247,720,002	計	1,247,720,002

(3) 平成30年度 (単位：円)

区 分	支出額	財源内訳	
事業費	450,211,678	一般会計借入金	450,211,678
整備費	2,892,451,880	一般会計借入金	1,451,880
		基金会計繰入金	223,000,000
		市債	2,668,000,000
基金の積立	131,783,050	寄附金	131,783,050
公債会計繰出金	6,764,147	一般会計借入金	6,764,147
計	3,481,210,755	計	3,481,210,755

16 名古屋城天守閣特別会計にかかる観光その他事業債の発行状況

区 分	平成29年度	平成30年度
借入額	846,000,000円	2,668,000,000円
借入期間	20年	20年
借入先	市場公募	市場公募
発行日	平成30年5月18日	令和元年5月20日
償還方法	満期一括	満期一括
利 率	0.568%	0.431%
利 子	96,105,600円 (4,805,280円×20年)	229,981,600円 (11,499,080円×20年)
元利償還額	942,105,600円	2,897,981,600円

1.7 設計監理等支援業務

区 分	事 項	内 容	
平成 29 年度	件 名	名古屋城天守閣整備事業に係る発注者支援業務	
	受託者	株式会社安井建築設計事務所 名古屋事務所	
	契約額	41,040,000円	
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業務等に係る支援 ・ 協議等の実施に係る支援 ・ 会議等の開催に係る支援 ・ 現天守閣の価値評価に係る支援 ・ 契約の締結等に係る支援 ・ その他付随する業務への支援 	
平成 30 年度	件 名	名古屋城天守閣整備事業に係る発注者支援業務	
	受託者	株式会社安井建築設計事務所 名古屋事務所	
	契約額	41,040,000円	
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業務等に係る支援 ・ 協議等の実施に係る支援 ・ 会議等の開催に係る支援 ・ 現天守閣の価値評価に係る支援 ・ 契約の締結等に係る支援 ・ その他付随する業務への支援 	
平成 29 年度	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務報告書 ・ 打合せ記録 ・ 単価等調査報告書（見積書等含む） ・ 価格交渉等の記録及び公表資料 ・ 会議等の資料、議事録 ・ 現天守閣の価値評価に係る協議資料案 ・ その他業務上、監督員が必要と認めたもの 	
	平成 30 年度	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務報告書 ・ 打合せ記録 ・ 単価等調査報告書（見積書等含む） ・ 価格交渉等の記録及び公表資料 ・ 会議等の資料、議事録 ・ 現天守閣の価値評価に係る協議資料案 ・ その他業務上、監督員が必要と認めたもの

18 天守台石垣調査の執行状況

(単位：千円)

区 分		内 容	支出済額	繰越額
史実調査		・歴史的文献資料の分析	16,669	—
外部	測量調査	・三次元点群データ作成	243,083	—
	現況調査	・石材調査 ・劣化度調査 ・レーダー探査 ・モニタリング調査		
	発掘調査	・小天守廻りの発掘調査		
穴蔵	測量調査	・立面図、縦横断面図、 平面図作成 ・三次元点群データ作成	21,622	—
	現況調査	・石垣カルテ作成 ・石材調査 ・劣化度調査 ・レーダー探査		
	根石・背面 調査	・石垣の根石及び背面状 況を確認	—	15,574
計			281,374	15,574

19 実施設計の執行状況及び今後の見通し

(1) 予算現額及び支出済額

区 分	金 額
予算現額	860,000千円
支出済額	594,000千円

(2) 内訳

(単位：千円)

区分	実施した内容		繰り越した内容	
	事 項	金額	事 項	金額
設計 業務	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図作成 ・構造解析 ・各種実証実験 ・現状変更許可書類作成 ・建築基準法第3条適用書類作成 ・消防法その他関係法令手続き書類作成 ・積算業務 ・施工技術検討業務 	508,000	<ul style="list-style-type: none"> ・構造解析 ・現状変更許可書類作成 ・建築基準法第3条適用書類作成 	183,000
調査 業務	<ul style="list-style-type: none"> ・史実調査 ・現天守閣記憶伝承調査 ・石垣調査 	86,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査 ・石垣調査 ・有害物質調査 	81,000

(3) 執行できなかった理由

・石垣評価や保全対策について有識者の理解が得られなかったことから、木造天守復元に伴う現状変更許可が取得できず、許可に必要な基本計画書の作成業務が継続し、また地盤調査業務などが実施できなかったため

(4) 今後の見通し

・執行できなかった業務は、木造天守復元の実現に必要な業務であるため、引き続き進めていく
 ・石垣評価や保全対策について有識者と協議し、速やかに業務を実施していく

20 実施設計に必要な現状変更許可申請にかかる文化庁との調整内容

区 分		内 容
石垣基礎調査（基本設計に含む）	許可日	平成29年9月15日
	現状	完了（職員により調査結果を分析中）
石垣詳細調査（穴蔵の試掘調査を除く）	許可日	平成30年3月9日
	現状	完了（職員により調査結果を分析中）
内堀堀底の発掘調査	許可日	令和元年9月24日（許可書は未達）
	現状	年度内に着手予定
御深井丸等の発掘調査 （解体工事の現状変更許可申請に包含）	協議	4回（平成31年3月29日、4月11日、令和元年5月29日、9月24日）
	意見	解体の現状変更許可申請に関し文化審議会から追加情報の提供を求められたものであるため、解体の申請から切り出して、石垣部会の了解を得て申請を提出すること
穴蔵石垣の試掘調査	協議	1回（令和元年9月24日）
	意見	石垣部会が求める石垣等遺構の発掘調査を行った後、適切な時期を見計らって、石垣部会の了承を得た上で申請を提出すること
天守台ケーソン基礎下のボーリング調査	協議	2回（平成30年4月20日、5月16日）
	意見	石垣部会で十分議論してもらうこと
	現状	その後石垣部会には諮られず、申請提出に至っていない
天守台ケーソン基礎コンクリートの劣化度調査	許可日	平成30年1月19日
	現状	完了
内堀内、御深井丸、本丸の地盤調査	許可日	平成29年9月15日
	現状	完了

注 令和元年9月30日現在

21 平成29年度に実施した基本設計の内容

(1) 内訳

(単位：千円)

区 分		金 額	
		当初契約額	変更後契約額
本体設計業務		482,508	476,409
その他 設計業務	仮収蔵庫	23,143	23,143
	素屋根	58,631	58,631
	その他仮設	50,959	50,959
調査業務		231,976	237,794
計		847,217	846,936

(2) 契約変更の内容

区 分	変更内容
本体設計業務	・ パース作成の一部取りやめ
調査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地盤調査の取りやめ ・ アスベスト調査の取りやめ ・ 石垣調査 (小天守) の取りやめ ・ 発掘調査に伴う養生の追加 ・ 木材主架構の資料作成の追加 ・ ケーソン基礎コンクリート劣化度調査の追加

2.2 木材の製材

(1) 保管場所及び内訳

区分	樹種	使用箇所	本数	支払金額
			本	千円
岩手	松	梁	156	125,000
岐阜	桧	柱・梁	148	350,000
愛知	桧・櫟	柱・梁	38	126,000
奈良	桧	柱	265	1,465,000
高知	桧	柱・梁	118	130,000
計	—	—	725	2,196,000

注1 支払金額は出来高金額の90%、出来高金額は材料費の50%

2 平成30年度末時点の出来高査定においては、保管料を含まない

3 保管場所では粗製材後の状態で保管

(2) 木材検査

区分	実施日	
実地検査	岩手	平成31年3月28日
	岐阜	平成31年3月25日
	愛知	平成31年3月20日
	奈良	平成31年3月4日
	高知	平成31年3月14日
出来高検査	平成31年3月29日	

2.3 木材調達にあたり文化庁へ報告した日程、報告事項及び文化庁からの意見

区 分	内 容
訪問日	平成30年6月7日
報告事項	文化庁訪問時に口頭で説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ プロポーザルのスケジュールに合わせて木材調達を行わないと確保ができなくなるため、契約手続を進めることとした ・ 文化庁に取材や問い合わせの可能性があるため、情報提供させていただく (翌8日に契約に関する資料を情報提供)
意 見	特になし

2.4 天守閣木造復元についての文化庁の正式な見解

- ・天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような内容の整備を行うか考えることが第一
- ・その上で、天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない
- ・名古屋城天守閣については、往事の資料が十分そろっていることを踏まえると、いわゆる復元検討委員会において木造によるできうる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる

注 文化庁長官の回答（平成27年6月22日）

○ 文部科学大臣

一般論として言えば、さっき私が申し上げたとおりでありまして、史跡等の往時の姿をしのばせる歴史的建造物を十分な歴史的根拠に基づいて復元することは、地域の活性化や文化振興に資するものであるというように考えております。

この名古屋城の天守閣は昭和二十年の空襲によって喪失をして、戦後、鉄骨鉄筋コンクリート造りで再建をされたというものでありまして、今御紹介をいただいたように、これを史実に忠実に木造復元しようという名古屋市の取組については、まさしくこの特別史跡の積極的な保存、活用を目指す趣旨であるというように思いますが、ただ、具体的な整備の方法、コスト等々、整備主体である地元の自治体が考えることが基本だというように考えます。

○ 文化庁次長

先ほど大臣の方から答弁ありましたが、国の史跡指定域内にある天守を解体、除却し往時の姿に再建する場合は、文化財保護法による文化庁長官の許可が必要でございます。

天守を解体、除却し往時の姿に再建する場合は、一般的には、現在の石垣の劣化状況等に関する現状調査を実施すること、二つ目には、現在の天守の解体、除却工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図られることが示されること、三つ目には、木造天守の忠実な復元がなされるような具体的な計画内容であること、四つ目には、木造復元に関わる工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図れることが示せることなどが必要でございます。

こういったことで、現在、先ほど委員御指摘のように、文化庁とやり取りをしておるわけでございますけれども、名古屋市の特別史跡のため設置をいたしました有識者組織、特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議の部会の一つでございます石垣部会におきまして検討をしているということでございますが、この部会におきましては、天守解体が及ぼす遺構への影響について、天守台石垣の安定性確認のための発掘調査、また仮設物の設置箇所を発掘調査する必要性等が指摘されていると伺っております。

文化庁といたしましては、名古屋市からの現状変更申請がもう既に来ておりますので、石垣部会の意見も参考に文化審議会において審議いただき、適切に判断してまいりたいと考えております。

25 天守閣木造復元の現状変更許可の申請に向け文化庁と調整した日程、調整事項及び文化庁からの意見

区 分		内 容
平成30年 4月～7月	訪問日	4月20日、5月16日、6月13日、7月20日
	調整事項	復元検討委員会に提出する基本計画書 (基本構想を含む)
	意見	地元の有識者との間で認識の一致を見ていないものは復元検討委員会での議論はできない
平成30年 8月～10月	訪問日	8月3日、9月10日、9月25日
	調整事項	10月文化審議会への諮問を要請
	意見	課題を解決し、状況を整えてもらわないことには前には進まない

注 平成30年7月30日に基本計画書の提出見送りを公表

26 文化庁が出席した名古屋城木造復元に関する会議

(1) 平成28年度

区 分	開催日	議 題
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議	10月13日	(1) 石垣部会（第19回）の報告 ・平成28年度石垣修復工事計画（案）について (2) 庭園部会現場視察の報告 ・平成28年度名勝名古屋城二之丸庭園の調査成果について (3) その他の報告 ・名古屋城二之丸南部整備のための調査について
	3月30日	(1) 建造物部会（第22回）の報告 ・本丸御殿復元工事について (2) 石垣部会（第20回）の報告 ・平成28年度石垣修復工事について (3) 庭園部会（第15回）の報告 ・名勝名古屋城二之丸庭園の発掘調査について ・名勝名古屋城二之丸庭園の名勝区域の拡大について ・名勝名古屋城二之丸庭園の修復整備について (4) その他 ・名古屋城重要文化財等展示収蔵施設について ・天守木造復元について
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 (保存活用計画検討会)	6月9日	(1) 特別史跡名古屋城跡保存活用計画について
	8月25日	(1) 特別史跡名古屋城跡保存活用計画について
	2月21日	(1) 特別史跡名古屋城跡保存活用計画について
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会	3月28日	(1) 平成28年度本丸搦手馬出周辺石垣修復工事について (2) 石垣カルテについて

(2) 平成29年度

区 分	開催日	議 題
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議	11月 6日	(1) 建造物部会の検討状況について ・本丸御殿復元工事について (2) 石垣部会の検討状況について ・石垣カルテの作成について (3) 庭園部会の検討状況について ・名勝二之丸庭園の発掘調査について (4) 特別史跡名古屋城跡保存活用計画について
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会	5月12日	(1) 名古屋城石垣カルテの作成について (2) 名古屋城天守台石垣の調査について
	8月 9日	(1) 石垣カルテの作成について (2) 天守台石垣の調査について

(3) 平成30年度

区 分	開催日	議 題
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議	12月20日	(1) 石垣部会の検討状況について <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度本丸搦手馬出周辺石垣修復について ・天守台石垣の調査について ・天守台石垣の保全と安全対策について (2) 庭園部会の検討状況について <ul style="list-style-type: none"> ・名勝名古屋城二之丸庭園第6次発掘調査（平成30年度）の概要について ・名勝名古屋城二之丸庭園平成30年度の工事予定について ・名勝名古屋城二之丸庭園平成31年度発掘調査計画検討について ・名勝名古屋城二之丸庭園修復整備計画（仮称）の策定について (3) 天守閣部会の検討状況について
	3月29日	(1) 石垣部会の検討状況について (2) 庭園部会の検討状況について (3) 天守閣部会の検討状況について (4) 特別史跡名古屋城跡の御深井丸北側歩道の街路樹整備（桜の植樹）について
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会	6月 1日	(1) 名古屋城総合事務所の平成30年度の調査研究体制について (2) 天守台外部石垣発掘調査のまとめと追加調査について (3) 小天守台周り石垣の発掘調査について (4) 平成30年度本丸搦手馬出周辺石垣修復工事（案）の概要について

27 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議の開催実績

(1) 平成30年12月20日開催

区 分	説明概要	主な意見
石垣部会の検討状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・本丸搦手馬出周辺石垣の工事内容について説明 ・修復勾配の検討経過について説明 ・背面構造の検討経緯について説明 ・天守台石垣の調査について説明 ・天守台石垣の保全と安全対策について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・修復勾配や高さについて、御石垣屋形図は参考になるが、そもそも引渡勾配が天守台と違うのでまったく同じやり方はできないと思う ・円弧すべりに関し、背面盛土を階段状に切って補強する方法もあるので、栗石の幅だけを問題にするのではなく、いろいろな対策方法を検討しなければならない ・栗石にネットを被せながら詰めるなどの強度を上げる方法もある ・天守台石垣の積み直しラインについて精査すること ・天守台石垣について、保全と安全対策について幅広い検討ができる体制が必要
庭園部会の検討状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第6次発掘調査の概要について説明 ・平成30年度の工事予定について説明 ・平成31年度発掘調査計画検討について説明 ・名勝名古屋城二之丸庭園修復整備計画(仮称)の策定について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・二之丸庭園にかかる予算と体制を整えてほしい ・近現代の遺跡の取扱いが今後課題になってくるため、慎重に進めていくべき

区 分	説明概要	主な意見
<p>天守閣部会の検討状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現天守閣ケーソン健全性調査について説明 ・木造復元天守閣の昇降等に関する検討について説明 ・天守閣整備事業工程案として、基本協定締結時との変更点を説明 ・大天守の屋根形状の検討について説明 ・屋根雨水流れ解析について説明 ・天守閣復元に係る基本計画書(案)について説明 ・復元天守の寸法の分析について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮強度と中性化で圧縮強度は大天守が50N近くあって、小天守が37.2Nだが、設計基準強度は、何Nで設計されているのか
<p>その他について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城本丸御殿の復元について説明 ・名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備状況について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示収蔵施設の周辺の樹木は全部切るのではなく、建物の風景を演出する意味で、空間を大切にするためには、樹木をある程度選抜しながら、切るものは切れればよい。また、セキュリティという意味では、ある程度樹木を整理する必要がある

(2) 平成31年3月29日開催

区 分	説明概要	主な意見
石垣部会の検討状況について	<ul style="list-style-type: none">・現天守閣の解体に伴う石垣への影響について説明・現天守閣の解体工事計画について説明・現天守閣解体に伴う天守台石垣への影響と対策について説明・天守台石垣調査の概要について説明・天守台石垣の変状、劣化状況の分析について説明・天守台石垣の保存方針について説明・石垣等詳細調査の具体的な手順、方法について説明・平成30年度までに実施した調査について説明・平成31年度以降実施予定の調査について説明	<ul style="list-style-type: none">・現天守閣解体時のリバウンドについて、一つの解析だけで結論を出さないでほしい。解析が不十分という感じである・計算方法がいろいろあるため、約1mmという数値で示すと、異議が生じることがあるので、複数の方法でやって、幅があるという示し方もあるのではないか・レーダー探査の結果、栗石が緩んでいると判断したところを実際にビデオスコープで見たのか・実際に見ていないのであれば、栗石の緩みはあるが、空洞はないという判断の根拠に疑問がある。判断の根拠をしっかりと押さえる必要がある

区 分	説明概要	主な意見
庭園部会の検討状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度修復整備工事について説明 ・平成31年度修復整備工事について説明 ・平成31年度第7次発掘調査について説明 ・名勝名古屋城二之丸庭園整備計画(仮称)について説明 ・「余芳」の移築再建について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・庭園の保存整備は、「御城御庭絵図」の情報に発掘成果等を組み合わせながら、より真実性を高めていく ・南蛮練塀の対策検討を早急にお願したい
天守閣部会の検討状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・木材調達の進捗状況について説明 ・屋根の仕様について説明 ・昭和実測図にない要素について説明 ・金鯨について説明 ・左官について説明 ・構造実験について説明 ・橋台の剣塀について説明 ・現天守閣の解体について説明 ・壁板、床板について説明 ・小天守地階、大天守地階の床、橋台の路面の仕上げについて説明 	<p style="text-align: center;">—</p>

区 分	説明概要	主な意見
特別史跡名古屋城跡の御深井丸北側歩道の街路樹整備（桜の植樹）について	<ul style="list-style-type: none"> ・整備、管理の計画案について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の真ん中にあり、枝が垂れ下がると困るので、樹形も考えて樹種を選択してもらいたい ・すぐに枯れてしまわないようにしっかりと管理計画と立ててほしい ・根の部分の遺構の状態を調べたうえで、遺構を傷つけることがないよう植え替えることが当然必要

28 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会の開催実績

(1) 平成30年6月1日開催

区 分	説明概要	主な意見
名古屋城総合事務所の平成30年度の調査・研究体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城総合事務所の組織について説明 ・平成30年度の学芸員体制について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制を更に充実させる必要がある
天守台外部石垣発掘調査のまとめと追加調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度発掘調査の概要について説明 ・追加発掘調査について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・内堀外側の石垣根石の安定度はまだわからず、追加調査が必要 ・調査の内容について、更に調整を行うこと
小天守台周り石垣の発掘調査について	—	—
平成30年度本丸搦手馬出周辺石垣修復工事(案)の概要について	—	—

(2) 平成30年7月13日開催

区 分	説明概要	主な意見
平成30年度本丸搦手馬出周辺石垣修復工事(案)の概要について	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣の解体について説明 ・石垣面の動態観測について説明 ・石垣積直しの基準線について説明 ・積直しの勾配、高さについて説明 ・石垣背面の仕様について説明 ・石材の再利用について説明 ・石垣解体に伴う調査について説明 ・石材調査について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣の勾配の問題を早く考える必要がある ・文化財の担当者、現場の関係者でよく議論するように
小天守台周り石垣の発掘調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査内容について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の名古屋城の小天守台に関わる痕跡が確認できるかに留意をすること
天守台石垣の保全と安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・天守台石垣の現況と保全について説明 ・木造復元に伴う天守台石垣の保全と対策について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・大天守台周辺の石垣は極めて不安定な状態 ・一般論として、復元建物を先にして石垣修理や保全の措置を後回しにするのは、史跡整備の手順として適当ではない ・はね出し架構は石垣の復元として史実に不忠実

(3) 平成30年11月2日開催

区 分	説明概要	主な意見
本丸搦手馬出周辺石垣今後の作業内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・勾配の検討状況について説明 ・石材再利用の検討状況について説明 ・石垣背面構造の検討状況について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・勾配は宝暦に合わせろということではなく、宝暦と合わせてみた結果、具合が悪いのかどうかを確認したい ・栗石幅は理想としては2m程度であるが、搦手馬出は5mと広いので復旧方法は十分議論すること ・石灰改良の際に掘削範囲が巨大になりかねないので、円弧すべりの範囲と程度を確定させないといけない ・熊本城で作成された石材再利用についてのフローチャート図を参考にすること ・搦手馬出だけでなく、名古屋城全体の石垣の保全、修理の基本の考え方をまとめる必要がある
特別史跡 名古屋城内石垣カルテについて	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城内石垣カルテについて説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・このカルテでは、石垣のダメージを把握するには足りない ・石垣部会での議論を踏まえて進めていくこと
天守台の調査について ・小天守台周り石垣の発掘調査 ・石垣現況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の目的について説明 ・調査成果の概要について説明 ・大天守台西面及び北面の石垣カルテについて説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学的に言えること、言えないことを真摯に検討すること ・天守台のモルタルの状況については再度検討すること ・北面の孕み出しをこれからどうするのかは今後の課題
天守台周辺発掘調査 追加調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・内堀内の追加調査について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・北側の堀底にはゴミ穴があり、全部取り換えねばならない ・内堀外側石垣の健全性をしっかり把握する必要がある

(4) 平成31年3月25日開催

区 分	説明概要	主な意見
現天守閣の解体に伴う石垣への影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現天守閣の解体工事計画について説明 ・ 現天守閣解体に伴う天守台石垣への影響と対策について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工学的な検討のみで特別史跡の現状変更許可申請をしても良いという誤った認識に基づいた計画である ・ 仮設を設置する範囲について、遺構保護のための調査を行う必要がある ・ 文化財的な検討を踏まえた上で、工学的な検討と重ね合わせ、文化財を保全できるかを示したうえで現状変更の手続きを進める必要がある
天守台石垣保存方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天守台石垣保存方針について説明 ・ 天守台石垣の調査について説明 ・ 天守台石垣の変状、劣化状況の分析について説明 ・ 天守台石垣の保存方針について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石垣調査の進展が見られない ・ 大天守台北側の内堀内が、戦災のごみで攪乱されているが、状況がまだ把握できていない ・ 調査を進めていく体制が不十分である ・ 文献資料に基づく史実調査がまだできていない
石垣等詳細調査の具体的な手順・方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天守台石垣調査の概要について説明 ・ 平成30年度までに実施した調査について説明 ・ 平成31年度以降実施予定の調査について説明 	
名古屋城本丸石垣発掘調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発掘調査内容について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の計画では現状変更許可申請のための議論の条件が整っていない

29 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議天守閣部会の開催実績

(1) 平成30年5月9日開催

区 分	説明概要	主な意見
第9回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について ・基本計画の策定について ・特別史跡名古屋城跡保存活用計画(案)について	・ケーソン下のボーリング調査が未だに実施できていないため早期に調査を実施していきたい ・石垣の「安全性」と「安定性」の違いについて、今後調査の報告にあわせて説明する	・ボーリング調査の申し入れを文化庁に行くこと
名古屋城天守閣整備事業工程案	・天守閣整備事業工程案として、基本協定締結時との変更点を説明	・天守閣部会がいろいろ議論している中で、どれが進んで、どれが留まっているのか。そういうことが、この会議では一番重要

(2) 平成30年6月11日開催

区 分	説明概要	主な意見
第10回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について ・名古屋城天守閣整備事業工程案について	・項目だけでは進捗具合がよくわからないので、現状変更許可の状況も合わせたネットワーク工程表を今後説明していく	・現状変更許可申請の状況がわからない ・7月の復元検討委員会に出す資料は何が足りないのか
大天守の屋根形状の検討について	・大天守の屋根形状の検討状況について説明	・規矩図の検討手法について、隅木や化粧垂木の勾配、反り元がどこかも記載すべき
屋根雨水流れ解析について	・大天守の屋根の雨水シミュレーションの検討状況を説明	・現代の環境や気候も考慮すること

(3) 平成30年7月19日開催

区 分	説明概要	主な意見
<p>第11回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大天守の屋根形状の検討について 	<ul style="list-style-type: none"> ・各重の屋根の勾配を図中に記載する他に、一覧表にまとめる ・屋根に関する勾配については一覧表にまとめ、化粧垂木の勾配についても、あわせて記載していく ・立面図で反り元がわかるように記載していく 	<p>—</p>
<p>天守閣復元に係る基本計画書(案)について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年12月及び平成30年3月の復元検討委員会での報告に対する意見とそれに対する回答要旨について説明 ・7月13日の第28回石垣部会での指摘を受け、修正した天守台石垣の保存と安全対策について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・現天守閣がSRCで再建された考え方などについて整理すること ・天守台石垣における、石垣部会固有の問題については、石垣部会の了承を得ること

(4) 平成30年11月2日開催

区 分	説明概要	主な意見
<p>第12回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天守閣復元に係る基本計画書(案)について 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の入場者数が想定を上回って、避難計算が成り立たなくなることがないように、入場者数の平準化等での対応も必要である、ということに対しては、今後の検討とする ・今後石垣保存計画を作成するとともに、さまざまな手法により検証して、部会で報告していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・平準化しなくて、やっぱり時間帯によっての増減みたいなものを、十分加味した上での避難計画にしていきたい ・石垣保存計画というのは、名古屋城全体の石垣を対象としているのか、天守台石垣を対象としているのか。名古屋城全体だと、この計画を作るのに数年かかると思う
<p>復元天守の寸法の分析について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の寸法の分析について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根の形状については、整理した資料を提示すること ・復元階段については、避難施設という観点からも寸法等を検討する必要がある

(5) 平成30年12月20日開催

区 分	説明概要	主な意見
第13回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について ・復元天守の寸法の分析について	・昭和実測図の部分の詳細図を拡大していくと、表面の造り木の左手のように外側の廊下と部屋の間は、舞良戸がおさまるような溝が太いタイプ、中央の十字の部分で建具自体は描かれていないが、溝の部分は細い形状と明確に描き分けられているため5階の戸は「襖」ではなかったかと判断した	・昭和実測図を見る限りは、確かに「舞良戸」ではなく「襖」と思われる
木材調達の進捗状況について	・木材の調達の考え方を説明	・檜については、できるだけ木曽檜を特に主要な部分である柱に使っていくことで調達を進めていってほしい ・あまりブランドに偏らないで、国産材がやっぱりいいと思うが、国産材で良質なヒノキが木曽以外にもあれば、しかもそちらのほうが安かったら、それをどんどん使っていくべき

区 分	説明概要	主な意見
屋根の仕様について	<ul style="list-style-type: none"> • 屋根の防水について、粘土瓦の屋根については端部に銅板による補強を行うこと、銅板瓦の屋根については、防水シートによる補強を行う復元案を説明 	<ul style="list-style-type: none"> • 銅板瓦屋根については異論はない • 粘土瓦屋根については詳細について今後検討すること
昭和実測図にない要素について	<ul style="list-style-type: none"> • 詳細が不明なものや、今回復元を目指す宝暦の修理よりも後の時代に付加されたと考えられる要素については復元しない方針と説明 	<ul style="list-style-type: none"> • 方向性について了解した

(6) 平成31年1月30日開催

区 分	説明概要	主な意見
第14回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について ・石垣について、現在問題となっている点について	・石垣について、現在どういふ点が問題となっているのか説明	・今の状態を打破するためには、対応を誤らないようにしていただきたい
金鯨について	・復元案については、下地について焼失前の仕様通り檜の寄木とする案と今後のメンテナンスを考慮し、青銅製とする案を提示	・青銅製の下地はあり得ない ・現天守閣の金鯨を再利用する意見が多くあったため、再検討すること
左官について	・屋根の漆喰の範囲や仕様について復元原案及び復元案を説明	・漆喰の仕様について、姫路城を参考に今後も検討を進めること

(7) 平成31年2月14日開催

区 分	説明概要	主な意見
<p>第15回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣の安定性の評価等の工学的な内容の検討について ・金鯨について 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣の安定性の評価や地震時の安全性等の工学的な内容については、今後、天守閣部会、石垣部会に相談して報告する ・現天守閣の金鯨を利用するのか、復元するのか、慎重に方針を検討していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き検討すること
<p>構造実験について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年の4月と5月において実施した、仕口と土壁の構造実験についての概要を説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・得られた結果を全体解析の中に、どうモデル化して、どう取り込んでいくかということが大切であるため、十分注意して検討してほしい
<p>橋台の剣塀について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋台の剣塀について、復元原案と復元案を説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・主柱と控柱、そして上下の貫の間の筋交いについて、後世になって入れられた可能性もあるため、耐震性も含めて検討した方がよい

(8) 平成31年3月26日開催

区 分	説明概要	主な意見
現天守閣の解体について	・現天守閣を解体する理由、解体の具体的な工法、石垣への影響対策について説明	・解析条件や、モニタリングの管理値をどのように設定しどのように対応するのか確認すること。また、現天守閣の記憶の継承として、解体と並行して見隠部も含めて記録すること
壁板・床板について	・天守閣の間仕切り壁板や床板について、各種資料の分析による復元原案と復元案を説明	・現存する古材の仕上げの程度を調べることにより、使用されていた時代の再検討を行うこと
小天守地階・大天守地階の床、橋台の路面の仕上げについて	・各種資料の分析による復元原案と復元案を説明	・大天守床の土瓦の大きさや、橋台の栗石の仕様について再検討すること

30 名古屋城天守閣整備事業における基本協定の有効性にかかる弁護士の見解

区 分	見解1	見解2
竣工期限の延長	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロポーザルの同一性は、総合評価で考えるものであり、何年とはなかなか言えない ・ 期限が延びても価格が下がると、同一ともとれる ・ 裁判官によって判断は変わる ・ 空転期間があつて延びたのか、難しい局面があつて延びたのかによつても判断は異なる ・ ただし、10年は厳しいと思われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直感的には延長しても3年程度ではないか ・ ただ、社会通念上の合理的範囲としては、普通3～5年程度と考える ・ 市長の任期が4年であるのも参考になる
天守復元工事にかかる期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多少延びても、問題ないと思える ・ 施工時期が変われば、経済条件や社会条件も変わるので、ある程度は仕方ない ・ 期間は、いつ着工するかのも時期にも影響を受ける場合がある ・ 天守閣復元工事を31か月で契約してしまったなら、31か月は守らなければならないが、契約前の段階で施工時期が移動したことによる悪影響まで竹中工務店に負わすことはできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹中工務店が、31か月が増えると言うのは信義則に反し認められないと思う ・ ただし、文化庁から下りた許可の内容により工事内容・方法が変わったのであれば、それはやむを得ない

区 分	見解1	見解2
総事業費 の上限額	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇による増額であれば、市が認めれば、理屈の上では問題ない ・しかし、上限額の増額は市民の理解を得がたいため、慎重にやっていくべき ・増額の許容範囲は割合で一桁台であれば許容されやすいが、一桁台でも絶対額が大きいと批判されやすいので絶対額も意識した方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・変更の理由によるが、不可抗力での変更は成り立つ ・目安として、法律家の感覚では、1年分の遅延損害金として年5分の利息であることを参考に、約25億円の増加が上限の一つの目安である
事業費の 内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・内訳書には拘束力は無いが、同一性の担保は、変更内容に合理性があるかどうかによる ・やることが変わっていなければ同一性は保たれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に工事金額の増減は発生するもので、竹中工務店の内部事情でもあるから、仮に石垣整備費の減額が出た場合、その分を他工事に振り分けるのは問題ない